

# ISICO

あなたのビジネスをインターネット上でサポート

DGnet URL ● <http://www.isico.or.jp>

vol.77



## 02 巻頭特集

# グローバル化の加速へ 海外研修の 積極活用を

大同工業(株) / 小松電子(株) / 会宝産業(株)

ページ

04 — **新たな成長戦略に挑戦  
チャンスをつかみ、  
未来をひらく**  
(株)テラ・サイエンス

06 — **目指せ！石川発の人気商品  
ヒットのタマゴ**  
加賀種食品工業(株) / 谷口製土所

08 — **ネットによる販路開拓  
サイトにかける情熱**  
直源醤油(株)

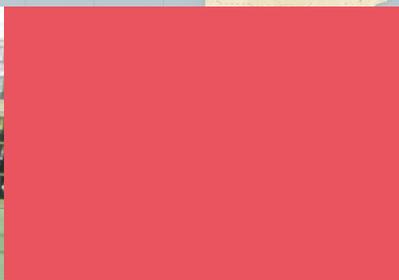
09 — **制度を活用した取り組み  
from・ユーズ**  
(株)エコシステム

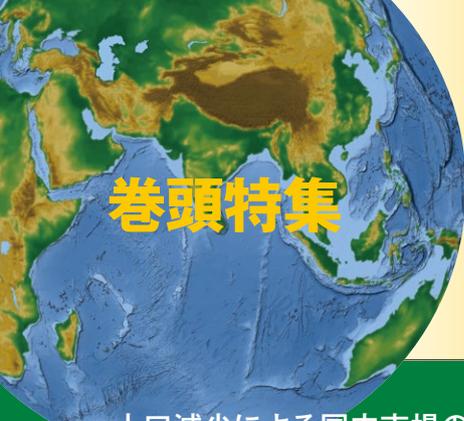
10 — **産学官連携の最前線  
トライアングル**  
革新複合材料研究開発センター

11 — **これから注目したい  
ISICO編集部が発見！**  
ピアズ・マネジメント(株)

12 — **ISICOからのお知らせ  
イシコ・トピックス**

事業のグローバル化に対応し、県内企業でも社員の海外研修の取り組みが活発化してきた。写真はタイで研修に取り組み小松電子(写真上段3枚)と大同工業(写真下段3枚)の社員の様子。詳しくは巻頭特集をご覧ください。





巻頭特集

# グローバル化の加速へ 海外研修の積極活用を

人口減少による国内市場の停滞や海外市場の拡大を背景に、県内企業においても国際展開への意欲が高まっている。今後、さらなるグローバル化の加速に向けて、より効果的に海外向け人材を育成しようと、海外での実地研修に取り組む企業が増えてきていることから、新たに研修制度を立ち上げたり、外部の研修・実習制度を活用するなどして、海外での人材育成に取り組む3社を紹介する。



自身の海外経験を生かし、海外トレーニー制度を発案した大同工業の平野信一常務

## 1年間の現地研修で、 海外赴任の不安を払拭

大同工業(株)

各種チェーン、リム・ホイール、コンベヤシステム等の製造・販売を行う大同工業(株)(加賀市)では、海外展開が進み、現地法人の設立が増える中、海外への赴任者選びが課題となっていた。しかし、赴任者選びは容易でなく、その背景にあるのが社員の中にある「行ったことがない」「英語や現地語が話せない」「自信がない」といった意識だった。

このため、インドネシアで10年の駐在歴を持つ平野信一常務は、そうした不安意識を解消し、海外赴任に抵抗のない社員を育てようと、30歳未満の若手社員を1年間海外の子会社で研修させる「海外トレーニー制度」を発案。安心して研修できるよう、治安が比較的良好、日本人スタッフ数もある程度いるタイやアメリカの現地法人を研修先とすることとした。

しかし、それでも研修制度への参加の手はなかなか上がらなかった。その原因を探るため、人事担当者が若手社員にヒアリングを行ったところ、研修に興味があっても、この制度では欠員補充がないため、職場から自分が抜けると上司や先輩に迷惑がかかると思い、申し込みをしなかったケースが多くあることがわかった。ところが上司の方にヒアリングを行ったところ、若手社員の海外研修への参加を容認する声が多く聞かれた。そこで両者のギャップを埋めるため、本人、上司、人事担当による面談を行うようにしたところ、研修制度の参加に手を挙げる社員が増え始めた。

研修制度は現在3年目に突入し、毎年各国に2人ずつを派遣している。

研修成果について平野常務は「コミュニケーション能力、海外と関連する仕事への積極性、難しい仕事にも挑戦する意欲などが向上した」と手応えを感じており、「研修を終えた社員を海外生活への免疫がある3年以内に海外へ赴任させた」と話す。

## 外部団体の事業を活用し、 海外インターンシップに参加

小松電子(株)

経営資源が限られる中、自前で制度を整え、社員に十分な海外研修を積ませることは難しいという企業も多いだろう。電



### 海外トレーニー制度の 事務局を担当

大同工業総務部人事課  
角谷直樹 課長

全くルールのないところから、「とりあえずやってみよう」の精神で研修をスタートしました。その後、課題が出るたびに解決策を考え、海外トレーニー制度の実現につなげました。



### 平成25年度に タイのグループ企業で研修

大同工業二輪四輪技術部 二輪四輪技術課  
早野修平 さん

現地スタッフとの会話に必要なタイ語が話せるようになり、英語もかなり身に付きました。外国人とのコミュニケーションが楽しくなり、海外でやっていく自信ができました。タイでは一人で何役もこなす必要があり、仕事への興味も広がりました。



海外展開の本格化に向け、海外での研修に力を入れる小松電子の滝川洋専務（左）と宮本和美総務部長



研修に参加することで、タイ語の習得だけではなく、コミュニケーション能力の向上や、仕事に対する自主性・積極性が磨かれたと話す小松電子の大國さん（左）、黒川さん（中央）、本谷さん

子機器やプリント基板を製造する小松電子（株）（小松市）もその一つだ。同社では、取引先である家電メーカーの相次ぐ海外進出に合わせ、平成 24 年に販売拠点としてタイに現地法人を設立。現地での取引拡大に向け、海外で活躍できる若手人材の育成が課題として浮かび上がった。

同社では、海外人材の育成について全くノウハウがなかった。そこで活用したのが、海外産業人材育成協会（HIDA）と日本貿易振興機構（JETRO）が手がける「国際即戦力育成インターンシップ事業」である。この事業は、開発途上国の企業等に日本の若手人材を派遣し、就労体験させるもので、費用負担も少なく、同社にはうってつけの制度だった。この制度に、これまで社内公募に応じた 3 人が参加。最大 6 ヶ月間、自動車部品工場やセラミック製品メーカーなどで研修した。

「現地での仕事を通じて、英語やタイ語の能力、仕事への積極性、異文化理解力が高まった」と成果を話すのは滝川洋専務で、「本人だけでなく、同僚への刺激にもなっており、今後も参加を検討したい」と話す。また宮本和美総務部長は、「今後、いかに研修経験を生かせる仕事に就かせられるかが課題」と話し、グローバル人材の育成、活用に向け、試行錯誤が続いている。

## JICA と連携し、ボランティアとして海外派遣 会宝産業(株)

使用済みの自動車から、中古部品を製品として再生、販売する会宝産業（株）（金沢市）。売り上げの 75% を輸出が占め、取引先はアジア、アフリカ、中南米の 74 カ国に広がる。タイ、ケニアなど 5 カ国には販売拠点となる合弁企業も設立した。

同社では、海外の担当となる社員を育成するため、約 3 年前から海外での市場調査や商談に挑戦したい社員を 1 週

間から 10 日間、希望する国へ派遣する制度を実施してきた。さらに海外志向の強い社員を後押しするため、今秋からは国際協力機構（JICA）の「民間連携ボランティア制度」を活用し、社員 1 人を 2 年間、ガーナに農業ボランティアとして派遣する。アフリカという日本とは全く異なる環境で、困難や逆境を克服できるタフな人材を育成するのが目的だ。ガーナには同社の合弁会社があり、ボランティアで得たものをその後の事業活動に還元できると期待している。



「企業のグローバル化を進め、成長する途上国の市場を取り込むには人づくりが不可欠」。近藤典彦社長はそう話し、今後も海外事業に意欲的な社員を後押しするための環境整備に力を注ぐ考えだ。

「海外で経験を積むと、産業資源の循環で地球環境の保全に貢献するという当社の仕事の意義をよく理解できる」と話す会宝産業の近藤典彦社長

## グローバル人材育成を ISICO がサポート

海外研修に対する機運の高まりを受け、今年度から ISICO は県とともに、「若手社員海外チャレンジ研修支援事業」という海外ビジネスの担い手となる若手社員の育成に取り組む県内企業を支援する制度をスタートさせた。同制度を使い、来年 2 月末までに 20 社が海外研修を実施する予定となっており、グローバル人材の育成として海外研修制度が普及することを期待している。（平成 26 年度の募集は終了しました）

（お問い合わせ）  
産業振興部 人材支援課……………TEL. 076-267-1145

# チャンスをつかみ、未来をひらく

Seize a chance and open a bright future.

## 金沢大のシーズをビジネスに 金時草パウダーで健康サポート



「パウダーならば輸出もしやすい」と海外展開も視野に入れる豊田剛史社長

### (株)テラ・サイエンス

<http://terrascience.jp/>

金沢市角間町金沢大学  
インキュベーション施設302号  
TEL. 076-264-6088

- 代表者 豊田 剛史
- 設立 平成24年3月
- 資本金 1,000万円
- 従業員数 5名
- 事業内容 食品・化粧品の  
機能性・安全性評価事業、  
機能性食品開発事業

テラ・サイエンスでは、金沢大学医薬保健学総合研究科の太田富久特任教授と連携し、健康や美容に有用な天然成分の研究開発とそのビジネス化を手がけている。現在、主力になっているのが加賀野菜の一つである金時草を丸ごとパウダー状に加工した食品原料だ。血糖値の正常化、血圧上昇抑制が期待されるとあって、さまざまな商品に活用され、販売量が年々増えている。



金沢大学内の研究室では、野菜などに含まれる有用成分の研究開発が進む

### アントシアニンなど健康成分が豊富

太田特任教授の研究によれば、金時草には健康に良い成分がたっぷりと含まれている。例えば金時草の生葉100グラムには、赤ワイン約1リットル分のアントシアニンが含まれるほか、レタス1.4個分の食物繊維、山芋やオクラと同様の粘り成分を含有する。また、抗ストレス作用のあるギャバは玄米の約2倍、鉄分・カルシウムはハウレンソウの約4倍、ビタミンAはニンジン約6倍含むなど、ビタミンやミネラルも豊富だ。

さらに、マウス実験によって血糖値の上昇抑制作用、中性脂肪や総コレステロールの抑制による抗肥満作用、抗ストレス効果が確認されている。

こうした研究結果を踏まえ、金時草の栄養成分を日々の健康づくりに役立ててもらおうとテラ・サイエンスが開発したのが金時草をそのまま、無添加・無着色でパウダー状にした食品原料である。これを活用した商品の第一弾が「金時草の力」だ。EH(株)(本社:大阪府堺市)によって商

品化され、現在までに累計20万箱を売り上げるヒット商品となっている。

### 健康、美容効果が口コミで評判に

「金時草の力」は金時草パウダーそのものを摂取しやすいよう2グラムずつ小分けにした商品で、1箱(3,500円・税別)に30袋が入っている。水やお茶、ヨーグルトに溶かすほか、料理に混ぜたり、ふりかけたりして使う。2グラムの金時草パウダーでちょうど20グラムの金時草を食べたのと同じ栄養成分が摂取できる。

テラ・サイエンスの豊田剛史社長によれば、「金時草の力」を毎日飲み続けることで、血糖値や血圧、コレステロールの値が改善したほか、「お通じがよくなった」「肌がきれいになった」など、健康、美容効果を実感する人が次第に増え、口コミで評判が広まり、ヒットにつながった。

商品化はこれにとどまらず、今年3月には同社とJA金沢市の共同企画で、金時草のほか、加賀野菜4種の粉末

をブレンドした「加賀五彩茶」を発売。今年7月には宅配ベーカーリーショップが、大豆の粉末と混ぜた「金時草ファイバープラス」を商品化するなど、引き合いが増えている。

## 栄養を損なわない気流粉碎で加工

金時草の栄養成分を余すことなく生かすため、テラ・サイエンスでは製造工程に工夫を凝らす。

まず、原料となる金時草は、石川県の契約農家が露地栽培で太陽の光をたっぷり当てて育てたものを使う。栄養価を重視して栽培するため、スーパーなどで市販されている金時草よりも葉が大きく、茎も太い。販売量の増加に対応するため、加賀市や白山市の農家に休耕田を活用した栽培を働きかけ、今年は約80トンを買取る計画だ。

収穫された金時草は乾燥させた後、気流粉碎によって微細な粉末にする。気流粉碎とは、空気の流れと素材同士がぶつかり合うことで粉末化する方法で、短時間で処理できる上、加工時に熱があまり発生しないため、栄養成分を壊さない。

とはいえ、生野菜が原料だけに、安定供給や品質の均一化に苦労することもあった。当初は県内の金時草をかき集めていたが、栽培量を増やしたり、規格化に取り組むことで、品質の向上、安定に成功した。

今後は、さらに金時草について理解を深め、より品質に優れた栽培法を研究するため、自社農場の整備を目指す。また、粉末加工については現在、他県にある工場まで輸送しているが、より新鮮な状態で粉末化できるように畑の近接地に自社工場を構える計画だ。

## イチゴやなれずしからも有用成分

豊田社長が太田特任教授の研究シーズを活用したビジネス展開を思い立ったのは約10年前。知人から野菜や果物の薬効成分を研究する太田特任教授を紹介された豊田社長が、糖尿病を患っている母親について相談したところ、薦められたのが試験的に作られた金時草のパウダーだった。豊田社長が半信半疑で母親に飲ませたところ、1カ月後には血糖値が下がり、2年後には血糖降下薬を飲まなくてもい



テラ・サイエンスの主力商品となっている金時草パウダー

いほどに改善。効果を目の当たりにした豊田社長は、「もっと多くの人に喜んでほしい」との思いから会社を設立した。

厚生労働省の平成24年「国民健康・栄養調査」によれば、「糖尿病が強く疑われる成人人口」は約950万人、糖尿病予備軍は1,100万人で、この数字を考慮すれば、金時草パウダーへの需要はまだまだ拡大が見込めると言えそうだ。

一方で新たな事業の柱づくりにも取り組んでいる。その一つがイチゴから抽出したポリフェノールを含んだ粉末や濃縮液であり、既にアメリカでは特許を取得している。イチゴポリフェノールは抗肥満作用や抗炎症作用、美白作用といった機能性を有するなど、市場の拡大が予想される健康食品市場において需要が見込まれることから、今後、パートナー企業を募って商品開発を進める計画だ。

豊田社長は「石川県の伝統醗酵食品である“なれずし”から抽出した乳酸菌など、事業化できるシーズはまだまだある」と話し、機能性に優れた食品原料の研究開発、商品化に意欲を燃やしている。



8月下旬から収穫が始まる契約農家の金時草畑



金時草パウダーを活用して作られた商品

テラ・サイエンスが利用した ISICO の支援メニューは「革新的ベンチャービジネスプランコンテストいしかわ」です。

(お問い合わせ)  
経営支援部 新事業支援課……………TEL. 076-267-1244

## もなかの種を料理の器に 先入観打ち払い販路開拓



アイデア次第でどんな料理ともマッチする「piaso」

### 愛らしい多彩なデザイン

加賀種食品工業では、もち米で作ったもなかの種(皮)を「<sup>ピアソ</sup>piaso」というブランド名で、食べられる器として販売している。ハートや星など形は90種以上もあり、オーダーメイドも可能だ。生地に抹茶やコーヒーなどを混ぜることで色や風味にもバリエーションをつけられる。

乗せる、挟む、焼くなどさまざまな使い方ができて、和洋中にスイーツなど活躍の場所を選ばない。料理にお米の香ばしさとさくさくとした食感をプラスできる点も特徴だ。

明治時代から和菓子用もなか種を作り続けてきた同社が、piasoを立ち上げたのは平成21年。あるレストランではグリーン色の卵型piasoにアボガドサラダを盛りつけて提供するなど、多くの外食企業や食品メーカーに採用されている。

以前は取引先ほとんどが和菓子



「天使がはこぶ ぼくらの時間」は京都を中心に県外の和菓子店で販売中

店だったが、今ではそれ以外の企業への出荷額が当初の4倍に増え、全体の3分の1を占めるようになった。「これからの伸びにも期待しています」と日根野逸平専務は笑顔で話す。

### 競争より新市場へ挑戦

とはいえpiasoはまったくの新商品というわけではない。既存のもなか種の新たな用途を提案し、ブランド化することで、新たな販路を開拓するための取り組みである。

この取り組みを始めたのは、京都の老舗和菓子店にも高く評価される同社のもなか種をもっと多くの人に知ってほしいという思いの反面、同業者同士で客の奪い合いをしたくないという思いからだ。

和菓子用という先入観を持たず、まっさらな状態で見てもらうため、イタリア語で米の皿を意味する「<sup>ピアット・ディ・リゾ</sup>piatto de riso」からpiasoというブランド名を新たに付け、外食企業や食品メーカーを対象にした展示会に出展。愛らしい形状が評判を呼んだことから、取引先は順調に増え、予想以上の受注につながった。

その一方で、「外食、食品業界の商品寿命は短く、商品の入れ替え時に取引が打ち切りになることもあります」と日根野専務は危機感も感じている。このため、同社ではさらに挑戦を続け、平成24年度には、県外メーカーとの協力のもと、活性化ファンド

を活用して、もなか種にアイスクリームを挟んだ「天使がはこぶ ぼくらの時間」を開発した。ただ、その第1弾の「あっさりバニラ味」は、採算ラインを超えたものの反響は今一つだった。

このため「次こそはヒットしてほしい」(日根野専務)という思いのもと、新バリエーションとして、高級感をより前面に出した「濃厚バニラ味」をこの夏に出荷したところだ。同社では引き続き商品開発を進めるほか、営業体制および開発体制のさらなる強化を進め、企業の成長につなげていく考えだ。



取引先が広がり、東京スカイツリーで販売するお菓子にも使ってもらえるようになった」と話す日根野逸平専務

### 加賀種食品工業(株)

金沢市春日町8-8  
TEL.076-252-2221

- 代表者 日根野 幸子
- 創業 明治10年
- 資本金 4,800万円
- 従業員数 204人(パート含む)
- 業務内容 もなか種、ふやし種の製造、卸
- <http://www.kagadane.co.jp/>

加賀種食品工業が利用したISICOの支援メニューは「いしかわ産業化資源活用推進ファンド」です。

(お問い合わせ)  
地域振興部 地域産業支援課  
TEL. 076-267-5551

# 九谷焼の新ブランドを創設

## 粘土を生かして商品開発



「BUTTERFLY MUG」は全5種類(3,888円)。  
釉薬をかけずに焼く「焼き締め」という技法が用いられている

### バタフライが指に止まる？

九谷焼に使われる陶芸用粘土を製造する谷口製土所は、オリジナルの陶磁器ブランド「HANASAKA roots of kutani」を立ち上げ、その第一弾として昨年9月に「BUTTERFLY MUG」を発売した。真っ白な生地に色鮮やかなバタフライが描かれており、持ち手に指を通してマグカップを口に近づけて傾けると、まるでバタフライが指に止まっているように見えるというユニークな商品だ。

「私は粘土屋ですから、粘土を生かしたものづくりを大事にしたいと思っています」。プロダクトディレクターを務める同社の谷口浩一さんのその言葉通り、生地にもこだわっていて、指にバタフライが止まってみえるという企画性が伝わりやすいよう、白く透明度の高い粘土を使用。また、バタフライの美しさをイメージ



5つのフレーバーがある「BUTTERFLY TEA」(各5個入り、1,080円)。マグカップとのセットでギフト需要を見込む

したフォルムは職人が一点一点、薄くて滑らかなものに仕上げている。

ブランド名は、九谷焼の生地 material となる花坂陶石に由来する。また、人の心に花を咲かせたいとの思いが込められ、谷口さんは「使う人や周りの人がワクワクして、楽しい気分になってほしい」と話す。

### 第二弾もお披露目へ

谷口さんが自社ブランドの立ち上げに乗り出したのは、九谷焼の将来に危機感を覚えたことがきっかけだ。「業界では若手の人材が不足しています。九谷焼はクリエイティブで面白いということを発信し、一緒に働く若い人を増やしたい」。そう考えた谷口さんは活性化ファンド事業の支援を受け、今までと違う現代風のデザインで、若者にアピールしようと BUTTERFLY MUGを開発し、昨年9月にはギフトショーにも出展した。

ギフトショーでの評判は上々で手応えを感じていたが、バイヤーからは商品を売り出すためにラインナップをもっと増やしてほしいとの要望が相次いだ。そこで、この1年は販路開拓を見合わせ、商品開発に注力した。

そして、BUTTERFLY MUGの関連商

品として開発したのが「BUTTERFLY TEA」だ。これは、タグ(持ち手)がバタフライの形になっており、紅茶を抽出する際、タグをカップのフチにかけておけば、まるでバタフライがカップにとまっているように見えるティーバッグだ。茶葉は、谷口さんのおじが東京で営む紅茶専門店のものを使用している。

さらに、HANASAKAブランドの第二弾として、正方形や丸形のプレートに小鉢を組み合わせて使う食器の商品化に取り組んでいる。器はすべて真っ白で、絵を描くように料理を盛り付けて楽しんでほしいとの思いから「CANVAS」と名付けた。これらの新商品は今年9月のギフトショーでお披露目し、BUTTERFLY MUGとともに販路開拓を本格化させる。

谷口さんは今後も、「開発に時間がかかっても、コンセプトを大事にした商品を作り続ける」と話し、雑貨のセレクトショップを中心に販路を広げ、ブランドを確立させる考えだ。



3年前に家業に就いた谷口浩一さん。これまでにない九谷焼を発信しようと意欲を燃やす

### 谷口製土所

小松市若杉町ワ124  
TEL.0761-22-5977

- 代表者 谷口 公昭 ■ 創業 昭和26年12月
- 従業員数 2名
- 業務内容 陶芸用粘土の製造、販売
- <http://www.taniguchi-seido.com/>
- <http://www.hanasaka-kutani.jp>

谷口製土所が利用したISICOの支援メニューは「いしかわ産業化資源活用推進ファンド」です。

(お問い合わせ)  
地域振興部 地域産業支援課  
TEL. 076-267-5551

# サイトに かける 情熱



## Passion to a site

ISICOではインターネットによる  
販路開拓をサポートしています。  
支援先の中から、熱い思いを胸にサイトの改善に挑む、  
意欲的な取り組みを紹介します。

## バナー表示で注文数が1.7倍に アドバイス受け、改善重ねる

[ 直源醤油 ]

<http://www.naogen.co.jp/>

直源醤油(株)

金沢市大野町1丁目53番地  
TEL.076-268-1113

■代表者 直江潤一郎 ■創業 文政8年(1825年)  
■資本金 1,200万円 ■従業員数 25名  
■事業内容 醤油、つゆ、たれ、ドレッシング、加工調味料の製造販売

トップページ。県外客  
や旅行客を意識し、ブ  
ログでは商品情報にと  
どまらず地域情報の発  
信も心がける



## 会員登録すれば、より便利に

大野醤油の老舗、直源醤油では、昨年10月からISICOの専門家派遣制度を活用してホームページドクターから指導を受け、ネットショップの改良に取り組んでいる。

アドバイスを一つずつ実行に移すことで、成果も表れてきた。例えば、昨年11、12月にはトップページにお歳暮用の商品をPRするバナーを新たに表示。訪問者の目に留まりやすくなった結果、注文数は前年同期比で1.7倍に増えた。また、自家消費用に比べて高額なギフト用の商品を注文する客が増え、客単価もアップした。

会員登録制度の導入もその一つだ。会員になると、購入金額に応じてポイントが貯まるほか、次回から住所などのデータを入力する手間が省けるとあって、利用者から喜ばれている。同社はこれまで、個人情報を取り扱うことになる会員登録制度の導入に慎重だったが、ホームページドクターと意見を交わす中で、会員を対象にキャンペーンなどを企画すれば、より効果的な販促活動に役立つと認識し、導入に踏み切った。

## アクセス解析生かし、改善へ

ホームページ利用者の動向を把握できていなかった点も課題として浮かび上がった。そこで同社ではホームページドクターの指摘を受け、無料アクセス解析ツールであるGoogleアナリティクスを設定をやり直した。ネットショップ担当の久保田純愛さんは「Googleアナリティクスを活用して、利用動向を分析し、今後の改善に生かしたい」と意欲を燃やす。

とはいえ、久保田さんはネットショップに加え、さまざま

な仕事を兼務しているため、「改善に時間を割くのが難しい」と悩みを打ち明ける。ネットショップの業務でも、「ギフトの中身をオーダーメイドで組み合わせたい」と電話やメールで個別に寄せられる要望への対応に忙殺されることも多い。こうした時間を短縮するため、直江潤一郎社長は「サイト上でギフト用の商品を選び、箱に詰める際の配置も自由にシミュレーションできる仕組みを構築したい」とアイデアを明かす。

「当社のネットショップは発展途上だが伸び代は大きく、有望な販売チャネルとして強化したい」。直江社長はそう話し、今年も引き続き制度を活用し、改善を進める考えだ。



直江潤一郎社長(右)と久保田純愛さん。商品や料理の写真の見せ方など、まだまだ課題は多いと口をそろえる

### ■ ホームページドクターからのメッセージ

中野治美さん (taskmother代表)



アクセス解析の環境が整い、今後はデータを元に顧客分析やコンテンツの改善などを行っていくことになります。直源醤油の商品は調味料ですが、パッケージにも工夫が凝らされ、最近では雑貨店でオシャレな商品と一緒に販売されるほどですから、雑貨という切り口でコンテンツを作れば、新たに若い女性客の獲得につながるのではないのでしょうか。その際には、ターゲットと同世代であるWeb担当の久保田さんの感性を大きな強みとして生かしてほしいと思います。

直源醤油が利用したISICOの支援メニューは「ホームページに関する専門家派遣制度」です。  
(お問い合わせ)  
産業振興部 産業情報課  
TEL. 076-267-1001



各種支援制度の利用者に聞く

ISICOでは、企業の成長をサポートするため  
さまざまな支援制度を用意しています。  
制度を利用して事業の拡大に成功した企業の取り組みを紹介します。

# 全国16社にノウハウ提供 瓦のリサイクルを推進



「廃棄瓦を活用し尽くしたい。まだまだ開発の余地はある」と意欲を見せる高田実専務

## ▶ 特許を活用して 自社製品を守る

エコシステムでは、家屋の解体などによって廃棄された瓦をリサイクルした舗装材「K-グランド」の製造、施工を手がけている。これは、細かく砕いた瓦をセメントや樹脂等で固めたもので、透水・保水性に優れる上、照り返しも少なく、滑りにくいといった特徴を持つ。近年人気なのが、粉末状にした瓦を路面に塗布するタイプの製品である。既存の舗装の上から施工できるため、大がかりな工事を必要としない点がメリットだ。

これらの製品は、石川県エコ・リサイクル認定製品に選ばれており、県内の歩道や園路、自転車道、駐車場な

どで採用されている。年間施工面積は5年前と比べて約1.5倍に増え、順調に業績を伸ばしている。

専用の破砕機を開発したり、セメントや樹脂の種類、配合を工夫したりと試行錯誤の末、同社がK-グランドを生み出したのは平成11年のこと。その後、瓦リサイクルのパイオニアである同社の後を追う企業が増え、現在、ライバルは全国で約40社に上る。

そこで、同社が自社製品を守るために取り組むのが特許戦略である。「出願するものもあれば、あえて出願しない場合もある」と話すのは高田実専務だ。というのも、特許を取れば、技術やノウハウが公開されてしまう上、特許製品には高価なイメージがつきまとい、公共工事で採用されにくくなる懸念があるからだ。

## ▶ 弁理士に助言受け ネットワーク強化

一方、同社が培ってきた技術、ノウハウを提供して瓦リサイクルの輪を広げるため、数年前からフランチャイズ契約による企業連携に力を入れている。

「例えば、石川から東京へ重い瓦を遠くまで運べば、燃料も使うし、エコではない。とはいえ全国に工場を建てる体力もない。当社の一番の目的は瓦リサイクルを進めることで、それならば意欲のある全国の企業と連携し、地

産地消型で進めようと考えました」(高田専務)。

各企業とフランチャイズ契約する際の書類作成などについては、ISICOの専門家派遣制度を活用し、弁理士からアドバイスを受けた。その結果、これまで16社に瓦の引き取りから舗装材の製造、施工に至るまでの一連のノウハウを提供、28都府県で施工できる体制を整えた。

事業が拡大する一方、協力会社間でトラブルが発生しないよう連携を密にして情報共有を進める必要性が出てきたことから、今年5月には、弁理士の提案を受け、同社と全国の代理店で組織する「K-グランド会」を発足。営業、施工時のガイドラインの作成、技術交流会の開催などを行っていく。「当社のノウハウが全国に広がり、各地の人たちが喜んでくれればうれしい」と高田専務。ネットワークをより強固にして、自社技術の普及、瓦リサイクルの推進を目指す。

## (株) エコシステム

能美市寺井町口50-1  
TEL.0761-58-6900

- 代表者 高田 典英
  - 創業 平成6年12月
  - 資本金 1,980万円
  - 従業員数 10名
  - 事業内容 産業廃棄物リサイクル製品の開発、施工
- <http://eco-system.ne.jp/>

エコシステムが利用したISICOの支援メニューは「**専門家派遣制度**」です。  
(お問い合わせ)  
経営支援部 経営支援課  
TEL. 076-267-1244



「K-グランド」の施工例。  
歩道や園路、自転車道、  
駐車場などで採用が進む

# 異業種、異分野の技術融合で 複合材料の活用技術確立へ

## 加工、分析用の装置がずらり

革新複合材料研究開発センター (ICC) は、炭素繊維と植物由来の樹脂などを使った新たな複合材料を産学官連携で研究、開発する施設である。金沢工業大学が文部科学省の支援を受けて整備し、今年6月に開所した。

白山市内にある金沢工大やつかほりサーチキャンパスに竣工した建物は3階建てで、延べ床面積は4,455㎡。1階にはダブルベルトプレス機、300トンプレス機といった大型装置をはじめ、複合材料の成形加工や組み立て、強度試験に必要な設備がそろそろ。また、2階、3階は日本最高の分解能を誇る顕微 X 線 CT や各種の材料分析を担うエリアと、植物由来の樹脂などについて研究するための化学バイオ実験室を有している。

## 企業、研究機関が 一つ屋根の下で研究

「世界の炭素繊維の約7割を日本メーカーが作っているが、炭素繊維を活用したものづくりは欧米に遅れ



「受け入れる技術者、研究者を増やし、100人規模で研究開発を進めたい」と話す鶴澤潔所長



革新複合材料研究開発センターの外観(左) / 複合材料の成形や材料試験評価を行うエリア(右上) / 研究者や技術者の交流スペース(右下)



をとっている。最終的な使い道を見すえた上で、材料を使いこなすための技術を開発し、普及することが必要だ」。ICCの使命についてそう話すのは、鶴澤 潔 所長である。

そのために ICC は異業種、異分野の企業との共同研究に取り組んでおり、既に大手の素材メーカー、機械メーカー等との連携がスタートしている。

また、ICC は文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)」において実施する「革新材料による次世代インフラシステムの構築」の中心拠点の役割も果たす。このプログラムは、平成33年度までの9年間で約80億円の産学連携による革新的なイノベーションを後押しする取り組みで、金沢工大を含めた26団体・企業が、炭素繊維複合材料を道路・トンネル、橋梁、高層建築、住宅、洋上風力発電施設といった大型インフラ用構造材として利用するための技術開発に取り組んでいる。

特徴的なのは、ICCが多くの企業や研究機関の研究者、技術者を受け入れ、一つ屋根の下で研究開発を進める点にある。複合材料は歴史が浅く、川上から川中、川下まで、

つまり素材開発、加工、商品づくりを手がける企業が、それぞれ専門の知識やノウハウを持ち寄り、技術を融合させる必要がある。そのため研究スペースは間仕切りを最小限とし、研究者や技術者がコミュニケーションをとりやすいオープンな開発環境を実現している。

このほか、来春からは複合材料に関する知識や製造、分析に関する技術を学ぶことのできる社会人向けの専門教育もスタートさせる計画だ。

なお、ICCの整備およびCOI STREAMに関する文科省の提案にあたっては、石川県とISICOも参画した。これらの計画は、県内の大学や企業などが連携して炭素繊維製品の一貫生産を目指す「いしかわ炭素繊維クラスター」の活動がベースとなった。鉄よりも軽く、強度が高いうえ、錆びないという特性を持つ複合材料の用途拡大と新ビジネス創出へ。石川発の素材革命に注目が集まる。

### 革新複合材料研究開発センター

白山市八束穂2-2  
TEL. 076-276-3100  
● <http://www.kanazawa-it.ac.jp/icc/icc/>



ISICO編集部が

**発見!**

今回の特ダネはこれだ!

# フェイスブックのデータを利用 投稿した思い出を一冊の本に

## 子どもの成長記録として 主婦層を中心に人気

ウェブサービスの開発を行っているピアズ・マネジメントでは、平成26年1月から「Your Days on Lifebook」(以下、Lifebook)というサービスを開始し、その発想の面白さがインターネットなどのメディアで話題となっている。

これは、フェイスブックを利用している本人や友達登録している友人がフェイスブックに投稿した写真やコメントのデータを自動的に抽出、レイアウトし、一冊の本として印刷するサービスで、約2週間で手元に届く。写真だけを集めた本を製作することも可能となっている。サイズはA4変形判(28ページ2,480円〜)と、女性がバッグに入れて持ち歩くことを想定したA5判(28ページ2,980円〜)の2つを選べる。

このアイデアは、取締役を務めるいかに篠井哲治さんの気づきから生まれた。平成20年からフェイスブックを利用して



会員制サービス「ハピログ」の開発画面



フェイスブックに投稿した写真やコメントが、時系列に沿ってそのまま本になる

した内容を見返したいと思ったが、以前に投稿した内容を見るには、最新の投稿からさかのぼっていくしか方法がなく、非常に不便に感じたという。その後、「フェイスブックはプライベートな日常を投稿する人が多く、日記的な側面がある。自分と同じように大切な思い出を見返したいという需要があるはず」と考え、平成24年からサービスのコンセプト作りや設計をスタート。プログラミングは、人件費が安いインドにアウトソーシングし、開発コストを抑えた。

Lifebookはサービス開始から半年で、約600人のユーザーが利用しており、現在は子どもの成長記録を残したいと考える子育て中の主婦層に人気があるという。篠井さんは「現在の利用者数はそれほど多くはないが、次の事業の展開に必要なプロセスだととらえている」と語り、今秋には、この事業をさらに発展させた「ハピログ」という会員制サービスを開始する。

## デジタルブックを公開 ユーザーが購入可能に

ハピログは、フェイスブックのデータの中から期間を区切って何冊でも無料でデジタルブック化できるとともに、有料で印刷することもできる。

ユーザーが本を販売できる点も特徴の一つだ。例えば、京都を旅行した部分だけを抜き出してデジタルブックとして公開すれば、旅行のガイドブックとして売ることが可能だ。また、カメラマンが写真集を出したり、主婦が料理のレシピ本を販売したりすることが簡単にできるよ



子どもの成長をまとめたアルバムとしての利用も多い

になり、ハピログがさまざまな人々が気軽に出版できる環境を生むプラットフォームの役割を果たすことになる。

代表を務める中林秀仁さんは「フェイスブックのユーザーは、日本では2,200万人だが、世界では12億人を超える。世界の市場を取り込むため、ハピログは日本語版に先駆けて英語版を公開する。このサービスを経営の軸に、3年後には上場を目指したい」と意気込む。



「これまでにないサービスを世界に向けて提供したい」と意気込むピアズ・マネジメントのメンバー

## ピアズ・マネジメント(株)

金沢市南町5-20中屋三井ビル5F  
050-1521-6027

- 代表者 中林 秀仁
- 設立 平成21年7月
- 資本金 300万円
- 従業員数 5名
- 事業内容 ウェブサービスの開発
- <http://peers-management.com/>

## 新しいマーケットの創造を手助け 第78回東京国際ギフトショー秋2014

ISICO は9月3日から3日間、東京ビッグサイトで開催された「東京国際ギフトショー」に出展しました。ギフトショー全体では、2,551社が出展、総入場者数は約19万人に上りました。ISICOブースは過去最多の31社が出展。出展企業は伝統工芸品や新素材のカーボン素材を使用した雑貨などを展示し、販路拡大を目指して、来場者と活発な商談（商談件数776件、成約件数107件）を行いました。



県内企業31社が出展したISICOブース

## 中小企業の若手社員の海外研修を支援 若手社員海外チャレンジ研修支援事業

ISICOと県では、経済のグローバル化を背景として、海外ビジネスに対応できるグローバル人材を育成するため、県内中小企業の入社10年未満の若手社員を対象とした海外研修の支援を、下記企業に対して行うこととしました。各企業が行う海外研修には、現地の関係者や従業員などと積極的に交流を行うことが盛り込まれているほか、海外のビジネス人材に求められる、異文化に対する理解力、コミュニケーション力を向上する内容となっており、参加者が海外事業の柱となる人材に育っていくことが期待されます。年明けには、海外研修を終えて帰国した方を集め、成果報告会を開催する予定です。詳細は、後日ホームページ等でお知らせします。

アール・ピー・コントロールズ(株)、(株)アイ・ツー、アサヒ装設(株)、天池合織(株)、(株)イーネットソリューションズ、(株)板尾鉄工所、(株)エイブルコンピュータ、(株)江沼チエン製作所、(株)LNSヨシダ、オリエンタルチエン工業(株)、(株)金沢エンジニアリングシステムズ、goowa(株)、(株)小松電業所、(株)スギヨ、(株)東振精機、(株)ヒロ、丸井織物(株)、メカトロ・アソシエーツ(株)、山一精工(株)、ライオンパワー(株)

## 国内最大級の新聞・雑誌記事データベース ELNET 全国新聞・雑誌記事 紙面データベース導入



記事の切り抜きイメージ

ISICOライブラリでは、国内最大級の新聞・雑誌データベースである「ELNET」のサービスを開始しました。ELNETでは、1988年から蓄積した膨大な記事を迅速に検索し、記事原文を切り抜きイメージのまま画面表示、印刷（一部の新聞を除く）をすることができます。なお、検索は無料となっていますが、印刷は有料となります。電話・メール等でのサービスは行っておらず、ISICOライブラリ内のパソコンでご利用いただけます。

編集  
後記



こんにちは。建物から出たとき、肌に触れる少し冷たい空気に秋を感じるようになってきましたね。

今回は、巻頭で海外研修制度について特集しました。実際に海外研修を経験された方々にお話を伺ったところ、皆さんが嬉しかったこと、大変だったこと、勉強になったことなどをたくさん話してくれました。海外研修での体験について話す顔は皆さん輝いていて、その顔を見ただけでも海外研修は実りのあるものだったのだと感ずることができました。言葉も習慣も違う土地に身を置く海外研修に参加するのはとても勇気のいることだとは思いますが、それだけ得られるものも大きいのでしょね。

今年6月に金沢工業大学のやつかほりサーチキャンパス内に開所した革新複合材料研究開発センター（ICC）では、炭素繊維などの複合材料を研究しているそうです。日本では炭素繊維を生産してはいるものの、炭素繊維を活用したものづくりについてはまだまだ発展途上なのだとか。企業と研究機関が1つ屋根の下で協力するICCで研究が進めば、全国の人に「炭素繊維と言えば石川県だよ」と言ってもらえる日が来るかもしれませんね。（ケンショウ）



公益財団法人

石川県  
産業創出支援  
機構  
Ishikawa  
Sunrise Industries  
Creation  
Organization

●お問い合わせは

TEL:076(267)1001  
FAX:076(268)4911

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目20番地  
石川県地場産業振興センター新館

URL <http://www.isico.or.jp>  
E-mail [info@isico.or.jp](mailto:info@isico.or.jp)

【発行月】平成26年10月(年6回発行)  
【編集協力】ライターハウス/金沢市問屋町1-75  
【印刷所】(株)橋本確文堂/金沢市増泉4-10-10